

# 体育科 授業改善推進プラン

## 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

### (1) 成果

○瞬発力や持久力が平均より高い学年が多い。

### (2) 課題

○男女共に握力が低い傾向にある。

## 2 観点ごとの実態

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動遊びを楽しんで行う児童が多い。</li> <li>まっすぐに走ることができる児童が多い。</li> <li>固定遊具やボールなどを使う遊びは、個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボールや固定遊具等を使う遊びは、技能の個人差が大きい。</li> <li>鬼遊びなど、体全体を使う遊びの技能が高い児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鬼遊びを楽しんで行う児童が多い。</li> <li>走る力や投げる力については個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほとんどの児童が「運動ができるようになった」と実感している。</li> <li>すべての児童が運動の大切さについて理解している。</li> <li>持久力では全国平均を下回る結果となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体を動かすことへの意欲が高い児童が多い。</li> <li>器械運動や水泳運動、ボールを投げることなどにおいて個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>病気の予防についての知識はあるが、生活習慣が乱れている児童がいる。</li> <li>体力テストの総合得点では、男女とも全国平均を上回っている。</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊びの工夫を考えたり、友達に伝えたりすることは、個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達の動きを見て、友達の動きを真似しようとしている。</li> <li>動きを工夫し、楽しい遊び方を友達に伝えることに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動きのよさを見つけようとしていたり、アドバイスし合いながら運動したりすることができる。</li> <li>自分たちで動きやルールを工夫している児童が少なく、課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>できなかったことをできるようにするために、工夫して友達の真似をしてみる児童が多くいる。</li> <li>自分たちの実態に合ったルールの工夫ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームで取り組む学習において、勝敗を受け入れたり作戦を考えたりすることができる児童が多い。</li> <li>ゲームのルールを工夫したり、ボール操作を工夫したりして取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の解決方法や、勝つための作戦を考えて運動している児童とそうでない児童の差が大きい。</li> <li>教え合うことの良さを実感し始めた児童も多い。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>どの運動遊びも意欲的に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と仲よく体を動かし、すすんで運動に取り組む児童が多い。</li> <li>苦手な運動もすすんで行う児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と仲よく体を動かし、すすんで運動に取り組んでいる児童が多い。</li> <li>苦手な運動もすすんで行う児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての児童が運動に対して「楽しい」と感じている。</li> <li>できなかったことをできるようにするために、授業以外でもすすんで運動に取り組んでいる児童が少しいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体を動かすことが好きな児童が多いが、苦手な運動に対して消極的な児童が一部いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体を動かすことが好きな児童が多いが、苦手な運動に対して消極的な児童が一部いる。</li> </ul>

## 3 課題と授業の改善策

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>用具を操作する動きを身に付けること。</li> <li>固定遊具の運動遊びを通して器械運動の学習につながる基本的な動きや技能を身に付けること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>用具を操作する動きを身に付けること。</li> <li>多様な動きをつくる運動遊びを通して、様々な基本的な体の動きを身に付けること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な動きをつくる運動において、楽しみながら技能を身に付け、体力を向上させること。</li> <li>走る力、持久力、投げる力を高めること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体力テストの結果から、柔軟性の項目以外は、全国平均値を下回る結果となっているため、運動量を増やすこと。</li> <li>運動を日常化し、体力や技能の向上を図ること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しく運動に取り組みながら、各領域の基礎的な技能を身に付けること。</li> <li>投げる力、握力を向上させるために、ボール投げや器械運動など、運動の日常化を図ること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しく運動に取り組みながら、体力を向上させ、各領域の基礎的な技能を身に付けること。</li> </ul>

	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達に自分の考えを伝えること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動きを工夫し、自分達で新しい動きや遊びを考えること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームや自分の課題に合った練習方法や場、作戦を選び、動きのポイントなどを意識しながら運動に取り組めるようにすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の課題を意識すること。</li> <li>児童同士でアドバイスし合うこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゲームの勝敗だけにこだわらず、自分やチームの課題を考えながら活動に取り組むこと。</li> <li>自分の課題を意識すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分やチームの課題を捉え、練習方法や作戦を考え実践すること。</li> </ul>
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰とでも仲よくきまりを守って運動遊びに取り組むこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲的に運動遊びができるよう、友達とかかわりをもたせること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>勝ち負けにこだわり過ぎず、協力して運動に取り組めるようにすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全のきまりに対する意識を高めること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動の得意、不得意にかかわらず、自分に合っためあてを設定し、すすんで運動できるようにすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>めあてをもち、誰とでも協力して楽しく安全に運動すること。</li> </ul>
	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>鬼遊びや固定遊具での運動遊びなど、用具操作の時間を多く取り入れる。</li> <li>全力で走る機会を多く設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>用具操作の時間を取る。</li> <li>多様な動きをつくる運動遊びの活動から、毎時間少しずつ取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育の時間以外にも取り組めるような走る運動や、持久力を高める運動(短縄など)を紹介し行うようにする。</li> <li>授業の中でも多様な動きをつくる運動や、持久力、投げの力を高める運動を取り入れ継続して行うようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動量確保のため、授業以外でも体を動かす機会をつくる。</li> <li>授業の導入では、運動の楽しさを実感させるために、単元に合った内容を取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題別に練習の場を設定したり、基本的な技能のポイントを示した資料や動画を活用したりする。</li> <li>毎時間、準備運動等で、投げる力、握力を高める運動を取り入れて継続して行うようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な技能のポイントを明確にした資料や動画を活用する。</li> <li>主運動に合わせた予備的な運動を帯で取り入れる。</li> <li>規則正しい生活習慣を守って生活することの良さを日頃から伝える。</li> </ul>
授業の改善策	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と関わる必要性のあるルールをつくる。自分の考えを伝えたり相談したりしたくなるような時間と場を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>攻め方や守り方などの例を示し選べるようにする。</li> <li>友達のよい動きを共有する時間を設定し広めるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業内でよい動きの共有、アドバイスを伝え合う時間を設ける。</li> <li>動きのポイントなどを意識して取り組めるように学習カードを工夫する。学んだことを記録し共有する時間を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題や作戦を考えることができるよう、学習カードを活用し、振り返りの時間を設ける。</li> <li>個人で作戦や練習法を選べない児童の手立てとして、チームで考える時間を多めに設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題や作戦を考えることができるよう、学習カードやタブレットを活用したり、振り返りの時間を設けたりする。</li> <li>個人で作戦や練習法を選べない児童の手立てとして、チームで考える時間を多めに設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の課題やチームの作戦について考えられるよう、学習カードやタブレットを活用する。</li> <li>グループやチームで協働的に学習に取り組めるような工夫をする。</li> </ul>
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>分かりやすいきまりを提示したり、きまりを丁寧に確認したりして、誰とでも楽しめる運動遊びになるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様で簡単な運動遊びに取り組ませ、意識して称賛の声をかける。</li> <li>用具の準備や片付け、場の設定を工夫することで、友達と一緒に運動遊びをする楽しさに触れることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>勝ち負けのある運動を多く経験させ、チームとして協力する気持ちを育てる。</li> <li>様々なゲームの中で、協力して運動する楽しさを味わわせる。</li> <li>協力していた場面やよい声かけなどを紹介することで友達と学び合う姿を価値付けする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動の大切さや効果を改めて理解させ、進んで運動に取り組む大切さを理解させる。</li> <li>安全に取り組んでいる児童を称賛するなどして、安全に対する意識を高められるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スモールステップを設けることで、自身の成長を実感させ、苦手な分野であってもすすんで運動に取り組めるようにする。</li> <li>体育の学習以外の時間でも外に出て遊ぶ時間を確保し、様々な運動をする時間を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育の授業や外遊びを通して仲間と共に体を動かすことの楽しさを実感させ、運動の日常化につなげる。</li> <li>スモールステップの段階を示し、自身の成長を実感させる機会を多く設ける。</li> </ul>